



ミシマ社
MISHIMASHA

一シリーズ22世紀を生きる 第1弾一

人生、行きがかりじょう

全部ゆるしてゴキゲンに

著者:バッキー井上

人は、こういうふう生きていくこともできる。

日本初の酒場ライター、バッキー井上(54歳)、
語り下ろしによる初の自伝的エッセイ。

「事実は小説よりも奇なり」という言葉がピッタリな「抱腹絶倒の半生」から滲み出る
独特の感性と語りを読者を魅了してやまない。

映画・漫画・小説をしのぐバッキーワールドをぜひお楽しみください!

「結果」って、自分で勝手に決めてるだけで、全部、「つづく」やな。

(「街で生きる」知恵と極意が詰まった、バッキー井上・名言より)

●目次

- 本書について
 第二夜 1 傷だらけのバッキー / 2 水道屋の「サタデーナイト・ファイバー」
 3 フレッシュを着た画家 / 4 ひとり電通〜「アップル以外の仕事はしません」/
 5 ひとり電通の終わり
 第三夜 6 37歳、漬物屋への転身 / 7 ヘンコ・マスターになるな!
 第四夜 8 「バッキー井上」の誕生 / 9 酒場ライターへの道
 第五夜 10 小説家だった / 11 居酒屋・百練は行きがかりじょう、こうなった /
 12 酒場を引く / 奥義
 第六夜 13 職人の生き物として / 14 かっこええ生き物として / 15 バーに行こう
 エピローグ 戦いはこれからだ。
 あとがき
 バッキー井上名言海・自己解説



●著者紹介:バッキー井上(ばっきーいこのうえ)

本名・井上英男。1959年京都市中京区生まれ。高校生のころから酒場に惹かれ、
ジャズ喫茶などに入出入りする。水道屋の職人さんの手元を数年した後、
いわゆる広告の「クリエイティブ」に憧れ広告会社にもぐり込む。
画家、踊り子、「ひとり電通」などを経て、37歳で現在の本業、錦市場の漬物店「錦・高倉屋」店主となる。
そのかたわら、日本初の酒場ライターと称して雑誌『Meets Regional』などで
京都の街・人・店についての名文を多く残す。
さらには自身も「居酒屋・百練」を経営。独特の感性と語りが多くの人を惹きつけ、
今宵もどこかの酒場で、まわりの人々をゴキゲンにしている。

判型:46判並製
 定価:1,575円
 頁数:232ページ
 発刊:2013年9月27日
 ISBN:978-4-903908-45-8C0095
 装丁デザイン/鈴木成一デザイン室

『人生、行きがかりじょう』 バッキー井上	注文欄	ご注文数	冊
-----------------------------	-----	------	---

ミシマ社の本の仕入方法について(基本パターン)

- 直接取引(返品可) *詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。
- ①掛率 : 70%
 ②納品 : 宅配便で直送します(送料はミシマ社負担)。 **直**
 ③返品 : 随時入帳可能(送料は書店様負担)。 【直取引メインです】
 ④精算 : 新刊などは3か月後、補充などは当月請求。
 返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、
 次回の請求より相殺を原則とする。
 ⑤支払 : 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート(返品不可)
 注文品のみ出荷、返品はできません。太洋社様経由で各取次へ搬入します。

貴店名: _____

ご住所: _____

TEL: _____

FAX: _____

ご担当者: _____ 様

通信欄

株式会社ミシマ社 営業チーム: 渡辺行き
 〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2-6-13 TEL:03-3724-5616

FAX:03-3724-5618